

第5次秋田地域福祉計画(案)について寄せられた意見と本市の対応

1 地域福祉推進関係者連絡会(説明会)の開催状況

地域の福祉関係者(地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、地区町内会連合会等の長)を対象に各市民サービスセンター計7回開催

令和6年10月28日 西部市民サービスセンター
 令和6年10月30日 中央市民サービスセンター
 令和6年10月31日 雄和市民サービスセンター
 令和7年1月16日 南部市民サービスセンター
 令和7年1月22日 東部市民サービスセンター
 令和7年2月18日 北部市民サービスセンター
 令和7年3月19日

2 寄せられた意見および本市の対応

No.	章	節等	意見要旨	基本的な考え方・対応
1	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	個別避難支援プランについて、地区社協、民生委員、町内会がバラバラに作成している。ワンストップな部署で統一的な対応が必要。	「災害時要援護者の避難支援プラン」に基づき、福祉部門と防災部門が協力して、地区各団体が連携して取り組めるよう、説明会等を開催して取り組みを進めてまいります。
2	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	河川に囲まれた地区のため、大雨時は町内会長が大変。避難場所が不足で、高齢化も進み、各町内会の防災組織が整っていないためと思う。	取組4-8-1「自主防災組織の育成強化」に努めるほか、「災害時要援護者の避難支援プラン」に基づき、地域の防災体制づくりへの支援を進めてまいります。
3	第4章 計画の取組	施策1 福祉に対する理解や支え合いの意識の向上	新型コロナ収束後、地区での防災行事や清掃活動に等に人が集まりづらくなって困っている。	計画の実施に当たり、地域活動への参加者が増えるよう、地域福祉や地域活動に対する啓発を行ってまいります。
4	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	①個別避難支援プランについて、地区では町内会と民生委員、福祉協力員が協力して取組を進めているが、支援者の高齢化によるなり手不足や支援方法が課題となっている。 ②昨年の豪雨災害をふまえ、避難所運営会議を実施しているが、豪雨災害時の避難所周辺が水没し、避難が困難となった実情がある。福祉避難所の取組を早急に進めてもらいたい。	次期「災害時要援護者の避難支援プラン」策定にあたり、個別避難支援プラン作成方法の柔軟化や福祉避難所の人材確保などについて取り組みを進めてまいります。
5	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	町内会活動への助成が減少する一方で、「災害時の支え合いの地域づくり」を進めてほしいという。そのあたりのバランスをとってほしい。	担当課所室に伝えるとともに、事業推進にあたって参考にさせていただきまます。
6	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	令和5年7月豪雨では、第4次地域福祉計画で取り組むとしていた内容で無事実施できたか。	被災者の安否確認など実施できた部分と実施できなかった部分もあり、その教訓を踏まえて、第5次計画で事業を進めてまいります。

No.	章	節等	意見要旨	基本的な考え方・対応
7	第7章 成年後見制度利用促進	全般	成年後見制度の利用には費用負担がかかるので、秋田県にはなじまないのではないかと。	費用負担もあるが、秋田市権利擁護センターで窓口相談の上、利用者に合わせて支援を提示してまいります。
8	第7章 成年後見制度利用促進	全般	もっと市民に周知することが必要であり、市民公開講座などを行ってはどうか。	毎年、秋田市権利擁護センターで市民公開講座を実施しており、一層の周知に努めます。
9	第4章 計画の取組	施策7(4-7-1)消費者啓発	詐欺防止に関しては、情報を得るだけでなく、だまされないことが大切であることを記載してはどうか。	消費生活出前講座や広報あきた、SNS等によって啓発に努めます。
10		計画全般	説明会の参加者だけでなく、支える側の主力である若い方に説明が必要ではないかと。また、行政がすべきことを地域に押しつけて評価している印象がある。	webサイトなどを通じて計画の周知に努める。なお、計画はあくまでも地域に期待される役割としており、評価指標も市民アンケートの結果。地域ではできる範囲で取り組みを進めていただきたいと考えております。
11	第6章 再犯防止推進	全般	再犯防止は、地域で生活する人に関わることであり、大変意義のあることだと評価したい。	計画に基づく取り組みを進めてまいります。
12	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	個別避難支援プランについて、町内会や民生委員、福祉協力員が協力して取り組みを進めているが、支援者の高齢者によるなり手不足や支援方法が課題となっている。また、福祉避難所についても取組を早急に進めてほしい	意見を踏まえて、より実効性のある取組を進めてまいります。
13	第5章 重点事業	2 災害に備えた支え合いの地域づくり	令和5年7月豪雨を踏まえ、市社協が地区の被災者に出向いて話を伺うなどの支援をおこなっているが、その内容の検証や他地区へのフィードバックはどう行われるか。	地域支え合いセンターでの取組や安心キット事業も含めて、秋田市社会福祉協議会の取組と併せて、必要に応じて地域に出向いて説明いたします。